



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月27日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2216 URL <https://www.kanro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 阿部 一博 (TEL) 03 (3370) 8811
 C F O 財務・経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績 (2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	20,609	15.0	2,235	72.6	2,262	66.9	1,551	65.7
2022年12月期第3四半期	17,927	20.8	1,295	151.5	1,355	148.4	936	114.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期第3四半期	111.64		—					
2022年12月期第3四半期	66.60		—					

(注) 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	23,205	13,630	58.7
2022年12月期	22,315	12,555	56.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 13,630百万円 2022年12月期 12,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	25.00	—	19.00	—
2023年12月期	—	20.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 5円00銭 (創業110周年記念配当)

※2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2022年12月期第2四半期末の1株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割後の基準で換算した2022年12月期の1株当たり年間配当金は、31円50銭となります。

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	13.5	2,940	52.1	2,970	48.4	2,050	52.3	147.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期3Q	15,315,604株	2022年12月期	15,315,604株
2023年12月期3Q	1,393,396株	2022年12月期	1,446,176株
2023年12月期3Q	13,900,514株	2022年12月期3Q	14,060,767株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

- ※ 1. 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の保有する当社株式(2023年12月期第3四半期471,000株、2022年12月期523,800株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(収益認識関係)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（以下、「当第3四半期」）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことを背景に、人流の拡大やインバウンド需要の増加等により、緩やかに回復しています。また、消費者物価は上昇基調にあるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気回復の継続が期待されています。しかしながら、世界的な金融引締めの影響から海外景気の下振れが景気下押しのリスクとなっており、物価上昇や金融資本市場の変動等の動向など先行きは依然不透明な状態が継続しています。

キャンディ市場におきましては、飴カテゴリーは、人流回復による食シーンの拡大下、昨年からのオミクロン株感染拡大の影響や花粉飛散量増加によるセルフケアの高まり等から、のど飴が牽引し前年同期を上回りました。また、好調なグミカテゴリーの伸長は継続しており、前年同期比で大きく増加し、市場全体においても、コロナ禍からの需要回復と価格の上昇も相俟って前年同期比で増加しております。

このような事業環境において、当社は企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、3ヶ年計画の2年目となる「中期経営計画2024」の3つの事業戦略（「価値創造」・「ESG経営」・「事業領域の拡大」）を着実に推し進めております。上期における需要の急激な増加を受けて、安定供給の観点から3月以降一部製品につき休売等の対応を実施しておりますが、人員増強を含む生産体制整備の進捗により、主力ブランドを中心にグミ・飴共に更なる需要取り込みが可能となり、当第3四半期の売上高は、前年同期比26億82百万円（15.0%）増収の206億9百万円となりました。

飴は、のど飴カテゴリー及びZ世代向け商品を含むファンシーカテゴリーを中心に袋形態が増加すると共に、ウィズコロナへの本格移行に伴いコンパクトサイズ形態・スティック形態の需要も回復し、前年同期比13億41百万円（14.7%）増収の104億60百万円となりました。製品別では、ノンシュガーのど飴シリーズの「ノンシュガー果実のど飴」、「ノンシュガースーパーメントールのど飴」に加え、テレビコマーシャルを実施した「健康のど飴」シリーズが好調に推移しました。グミは、発売20周年の昨年に大きく伸長した主力ブランド「ピュレグミ」シリーズが、テレビコマーシャルも功を奏し販売増となり、ハード系の「カンデミーナグミ」、直営店舗ヒトツブカンロ・デジタルプラットフォーム「Kanro POCKeT」での高付加価値商品「グミッツェル」の伸びとも相俟って前年同期比14億7百万円（17.1%）増収の96億54百万円となりました。素材菓子は、前年同期比69百万円（12.5%）減収の4億91百万円となりました。なお、休売等の影響による商品アイテムの絞り込みは継続しており、来年度も見据え更なる生産体制拡充への取組みを進めております。

利益面では、昨年に続き一部商品の価格改定及び内容量の変更を実施いたしました。継続する原材料価格の値上がりにより変動費率は上昇したものの、販売数量増加と生産性向上に伴う限界利益の増加により、売上総利益は前年同期比13億45百万円（19.4%）増益の82億65百万円となりました。営業利益は、テレビコマーシャル及び各種商品キャンペーンの実施による広告宣伝費の増加、人員増加等による人件費の増加に加えて、事業領域拡大への施策経費を含む一般費が増加したものの前年同期比9億39百万円（72.6%）増益の22億35百万円となりました。経常利益は、前年の損害金収入の反動もあり前年同期比9億6百万円（66.9%）増益の22億62百万円となり、四半期純利益は、前年同期比6億15百万円（65.7%）増益の15億51百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ8億90百万円（4.0%）増加し232億5百万円となりました。

これは主に売掛金が14億13百万円減少しましたが、現金及び預金が13億67百万円、有形固定資産が5億23百万円、商品及び製品が3億39百万円増加したことによるものです。

負債の部は、前事業年度末に比べ1億85百万円（1.9%）減少し95億74百万円となりました。

これは主に短期借入金が5億円増加しましたが、未払費用が4億68百万円、未払金が1億31百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ10億75百万円（8.6%）増加し136億30百万円となりました。

これは主に四半期純利益15億51百万円の計上と配当金5億61百万円の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期業績予想につきましては、2023年10月27日付「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,310,808	3,678,593
売掛金	7,673,640	6,260,149
商品及び製品	774,996	1,114,071
仕掛品	14,204	129,856
原材料及び貯蔵品	380,597	347,125
その他	197,263	204,122
流動資産合計	11,351,510	11,733,919
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,035,754	7,534,414
減価償却累計額	△4,029,677	△4,206,194
建物（純額）	3,006,076	3,328,220
機械及び装置	13,282,569	13,471,741
減価償却累計額	△9,661,698	△9,852,671
機械及び装置（純額）	3,620,870	3,619,069
土地	1,497,829	1,497,829
その他	2,785,015	2,897,174
減価償却累計額	△2,111,174	△2,144,457
その他（純額）	673,841	752,716
建設仮勘定	270,261	394,218
有形固定資産合計	9,068,880	9,592,056
無形固定資産	228,469	251,513
投資その他の資産		
投資有価証券	174,451	236,781
繰延税金資産	1,060,218	965,480
その他	431,691	425,697
投資その他の資産合計	1,666,361	1,627,960
固定資産合計	10,963,711	11,471,529
資産合計	22,315,222	23,205,448

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,176,026	2,180,980
短期借入金	—	500,000
未払金	1,082,176	951,065
未払費用	2,225,694	1,757,230
未払法人税等	319,477	361,592
賞与引当金	904,368	871,842
役員賞与引当金	121,750	124,125
その他	378,030	199,964
流動負債合計	7,207,523	6,946,801
固定負債		
退職給付引当金	2,270,581	2,245,251
役員株式給付引当金	195,347	193,611
その他	86,744	189,295
固定負債合計	2,552,674	2,628,158
負債合計	9,760,198	9,574,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,577,892	2,577,892
利益剰余金	7,944,113	8,934,658
自己株式	△883,467	△841,061
株主資本合計	12,502,789	13,535,739
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,085	94,737
繰延ヘッジ損益	148	12
評価・換算差額等合計	52,234	94,749
純資産合計	12,555,023	13,630,489
負債純資産合計	22,315,222	23,205,448

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	17,927,618	20,609,658
売上原価	11,008,129	12,344,598
売上総利益	6,919,488	8,265,060
販売費及び一般管理費	5,624,301	6,029,937
営業利益	1,295,187	2,235,123
営業外収益		
受取利息	94	64
受取配当金	2,818	3,120
損害金収入	37,705	—
売電収入	8,196	9,111
受取ロイヤリティー	2,470	10,123
その他	14,274	10,717
営業外収益合計	65,560	33,138
営業外費用		
支払利息	877	1,277
売電費用	4,039	4,088
その他	179	866
営業外費用合計	5,096	6,231
経常利益	1,355,650	2,262,029
特別利益		
固定資産売却益	934	—
投資有価証券売却益	3,605	—
特別利益合計	4,540	—
特別損失		
固定資産売却損	—	224
固定資産除却損	319	14,585
減損損失	16,217	9,949
会員権売却損	—	200
特別損失合計	16,537	24,959
税引前四半期純利益	1,343,654	2,237,070
法人税、住民税及び事業税	291,900	609,197
法人税等調整額	115,236	75,992
法人税等合計	407,137	685,189
四半期純利益	936,516	1,551,880

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、菓子食品事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
飴	9,118,809	10,460,644
グミ	8,246,269	9,654,253
素材菓子	561,781	491,823
その他	758	2,937
顧客との契約から生じる収益	17,927,618	20,609,658
外部顧客への売上高	17,927,618	20,609,658

(注) 「その他」は、食品以外の雑貨類であります。